

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	1 年	学科	全学科	必選	必履修
教科	家庭	科目	家庭総合	単位	2 単位
使用教材	開隆堂 家庭総合 明日の生活を築く				
学習目標	① 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図り、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 ② 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。				
単元と内容					
1 学期	①青年期の自立 ②家族・家庭および社会 ③共生社会を生きる	ライフステージの特徴と課題について理解する。			
		家族・家庭と地域・社会の関わりを理解する。			
		誰もが普通に生きることについて理解を深め、4助を学ぶ。			
2 学期	④高齢者との関わりと福祉 ⑤衣生活の科学と文化	高齢者・高齢期について理解する。			
		高齢者と社会、高齢者福祉について理解する。			
		被服と人との関わりを理解し、衣生活の自立に必要な情報収集・整理ができる。			
		被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、被服管理について理解する。			
		衣生活の自立に必要な技能を身に付ける。			
3 学期	⑥住生活の科学と文化	住まいと人との関わりについて理解する。			
		健康・安全・環境に配慮した住居の機能を理解する。			
		住生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。			
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。			
II	思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。			
III	主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。			
評価方法	観点Ⅰ		観点Ⅱ		年間時数
	ペーパーテスト 実技テスト(基礎縫い) 授業時のプリント 被服製作作品		授業時のプリント ペーパーテスト 発表		予定
					70 時間
					実施
置賜農業 育てる能力		健康 自己肯定感 主体性 生命 他者理解 協調性 生きる力 知識技能 地域づくり 実践奉仕 社会貢献			